

教科「芸術Ⅱ」

科目「書道Ⅱ」

(2年次)

単位数	1 単位
担当者	森谷 美和
教科書	書Ⅱ (教育図書)
副教材等	学習プリント、作品手本等

【1】科目の目標

- ・表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深める。
- ・様々な場面に対応できる書写能力を養いながら、主体的に自己を表現するための書の能力を高める。

【2】科目の内容と進め方

1 学期：漢字の書の臨書（楷書・行書・草書）、2 学期：漢字の書の臨書（隸書・篆書）、3 学期：仮名の書の臨書、漢字仮名交じりの書

【3】学習形態

書道室で授業を行う。作品の制作を行いながら、作品の背景について一斉、グループで学習を行う。

【4】学習上の留意点

「漢字の書」では、様々な書体や書風に触れることによって書の鑑賞と表現の能力を高め、それらを創作につなげられる学習にする。「仮名の書」では、仮名の書の美や表現方法を学び、表現技法を高めるための学習をする。「漢字仮名交じりの書」では、漢字・仮名の古典を利用することでより創造的な学習にする。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- 1 書への関心・意欲・態度： 様々な書の美に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組めたか。漢字と仮名の書の書を通して、多様な書法を意欲的・主体的に学び、古典の美と価値を感じ取れたか。漢字仮名交じりの書の学習を通して主体的に表現する能力を高め、実用的な表現を身につけられたか。
- 2 書表現の構想と工夫： 古典の特徴を捉え、習得した技法を自身の表現活動に生かしたか。感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫できたか。
- 3 創造的な書表現の技能： 漢字・仮名の書の学習で習得した表現の能力を生かし、創造的な表現の技法を身につけ、表現することができたか。書の美の多様性、文化や伝統を理解し、良さや美しさを理解できたか。作品と落款の配置の関連を考え押印することができたか。
- 4 鑑賞の能力： 書の美の多様性、書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を理解し、その良さや美しさを理解できたか。

② 評価の方法

- ・授業での学習活動の様子、作品への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・毎時間評価シートで学習の振り返りを行うことで、次時への取り組みにつなげられるかを評価する。
- ・作品の添削を通して、技能を身につけられたかを評価する。

【6】その他 なし